

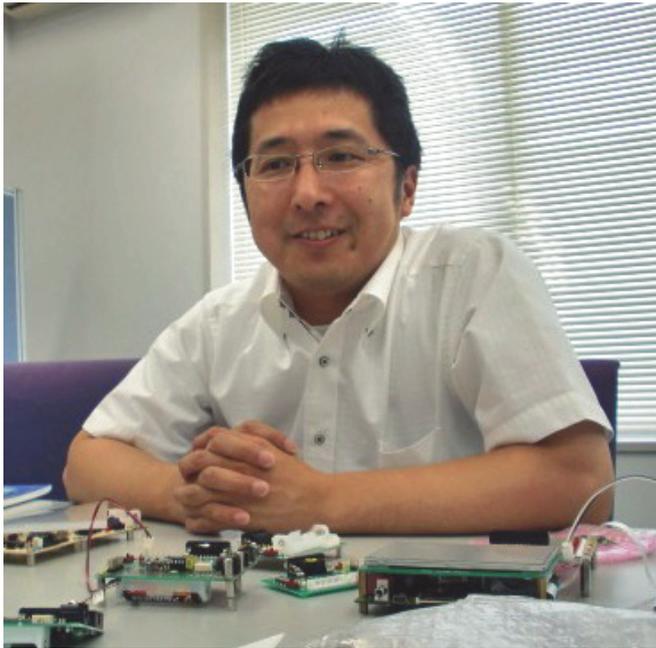
入居企業紹介

その72

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 210

株式会社シンフォディア・フィル



【代表プロフィール】

株式会社シンフォディア・フィル
代表取締役 滝口 収(たきぐち おさむ)さん
電機メーカー出身。約7年前から橋本に在住。
体を動かす事が好きで、週に1~2回はバスケットボール
やバレーボールをしている。
今年度から山形大学の非常勤講師も勤めている。

【起業しようと思ったきっかけは?】

電機メーカーを退職後、一人で技術コンサルティング
会社を設立して活動していたが、一人でなく、会社という
組織を作り、自分個人の能力だけでなく、スタッフの力、
ひいてはエンジニアの力を結集して、「作りたいもの」
を作るために2007年7月に当社を設立した。

創業時は、顧客の関係もあり、山形にて設立。2008年
にSICに入居し、現在は、山形の事務所と橋本を行き来
しながら、活発な事業活動を行っている。

会社名のシンフォディア・フィルは、エンジニアの技術を
演奏になぞらえ「ハードの人材や技術」と「ソフトの人材や
技術」を融合し、「シンフォニー」を奏でる意味に由来して
いる。

【事業紹介】

主な事業内容として、センシング技術を活用した次世代端末の
開発を行っている。(生体センシング・ユビキタス・センサーネット
ワークソリューションと当社では呼んでいる。)一例として、山形大
学と共同開発した血流測定センサー機器の開発を行っている。

センサーをマイコンボードでアナログ/デジタル変換する技術、
アイデアを試作品に仕上げる技術力等が当社の強みである。

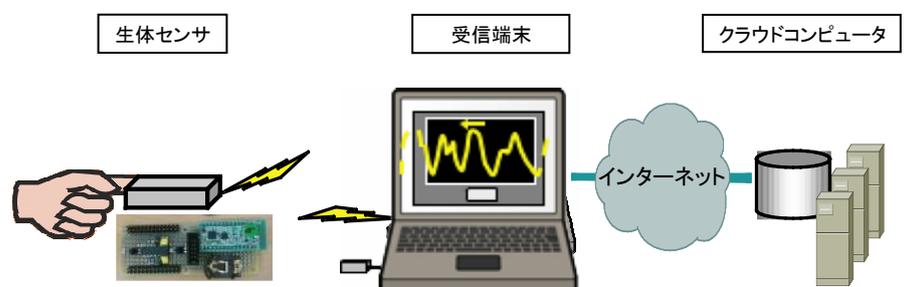
【これからの夢または目標は?】

今年度から山形大学で講義を行っている。授業内容は実際に電
子機器のハンダ付けを行い、組み込みソフト導入までを行う内容
である。プログラムしか知らない学生の中には、ハンダ付けが初め
での学生もおり、実際に電子回路の作成を学ぶことが新鮮なよ
うで、授業時間も忘れ熱中している。

このような学生を見ていると、是非とも今後も「ものづくり」人材
が育って欲しいと願っている。未来の人材を育てるためにも
今後は「研究室・学生向け開発キット」を開発し、ハード・ソフト
の「ものづくり」の大切さを再認識し、この事業を次なる柱に繋げ
たいと思っている。

山形大学との共同研究・血流センサーのイメージ

生体センシング・ユビキタス ネットワークソリューション構成



株式会社シンフォディア・フィル SIC1-210
TEL042-770-9405 FAX042-770-9406
<http://www.symphodia.co.jp>



入居企業トピックス

●今月の掲載記事紹介

8月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

- 8月2日(月) **株式会社 Ronk ジャパン**
神奈川新聞 ビジネスウオッチに掲載されました。進化したデジタル無線「デジタルワイヤレスインターカム」のご紹介。
- 8月10日(火) **株式会社グローバルヘルス**
日経産業新聞 超音波診断装置が紹介されました。マッサージ効果測定 筋肉の堅さ数値化。
- 8月20日(金) **株式会社テクニカルエンジニアリングサポート**
相模経済新聞 さがみのフロンティア(人と企業群)に掲載されました。好不況かわらず定期採用。正社員100%体制できめ細やかな対応。

入居企業の皆様へご案内



くるまかふえ Sky Days

9月のSIC販売予定日:

**3日(金)、10日(金)、
17日(金)、22日(水)**

営業時間 11:00 ~ 16:00

パン・コーヒーともなくなり次第終了です。

只今、お試し中! <http://skydays.net>



平成 22年 **10月3日(日)**
午前 8:00 根本草園口集合 / 午後 5:00 根本草園口解散

場所
津久井青根地区
青根小学校
青根小学校の学校林

講師
佐藤 好延氏 (有限会社サトウ草木 代表取締役)
有限会社サトウ草木スタッフの皆さん

津久井
森林体験
教室2010

TSUKUI FOREST TOUR IN AOONE

豊かな森林資源や水資源に恵まれた津久井地域から私たちは多くの恩恵を受けてきました。その津久井地域は林業や農業の衰退とともに森林や農地の荒廃化が進んでいます。

また、首都圏近郊にも関わらず過疎化や限界集落問題が現実のものとなっています。こうした実態を肌で感じてもらうとともに荒廃した里山の再生にみんなで取り組みます。ご参加お待ちしております。

【主催】相模原市 / (株)さがみはら産業創造センター / 一般社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム【企画・運営】有限会社サトウ草木【協力】青根小学校 / 青根地域の住民の皆さん / 財団法人相模原市産業振興財団

【開催日時】10月3日(日) 午前8時~午後5時

【参加費用】2000円(バス代、保険料、昼食代)

【募集人数】40名(申込順)

【内容】青根地域の森林環境体験と散策路づくり
山林再生に取り組んでいる(有)サトウ草木の協力を得て、午前中は水源林の状況や青根地域の様子など周辺を案内していただきます。午後は、学校林周辺の散策路の整備を行います。

お問い合わせは、担当 稲垣まで(内線1114)

詳しくは、SIC ホームページをご覧ください。

2010年9月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理: 8月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成
社会保険・労働保険: 算定基礎届による新しい標準報酬月額を適用

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 会議室11月分 予約受付開始	2	3 ☕	4 経営塾 ★SIC-2 エレベーター点検
5	6 SIC-1 窓ガラス清掃 *エレベーター点検	7 SIC-1 消防設備点検	8	9	10 ☕	11
12	13	14	15	16 SIC-1 エアフィルター 清掃	17 ☕	18 SIC-1 床面定期清掃
19	20 秋分の日	21 SIC-2 フィルター清掃 空気環境測定	22 ☕ SIC-2 窓ガラス清掃 消防設備点検	23 敬老の日	24	25 経営塾
26	27	28	29	30	1	2

* エレベーター点検 SIC-1 9:30~10:30 * エレベーター点検 SIC-2 9:30~11:30の間はご利用になれません。
お問い合わせは 生井(内線1116)まで

「基本はここにあり！」

とんでもなく暑い日の続いた8月が終わりました。まさに異常気象です。そして、その暑いあついSICの夏は、SIC「アントレ」でした。

「ジュニア・アントレ」は7月31日、8月1日、4日、6日、8日「こどもアントレ」は8月18日、20日、21日、22日に実施されました。特に、企画製造をした「商品」を相模大野ステーションスクエアで販売する場面では、いきいきとした子どもたちの姿が感動的でした。

一方で、このイベントの企画運営は、大学生を対象にした「アントレ・インターンシップ」のメンバーが行っています。5月9日のキックオフから準備をかさねた成果が、見事に具体化しました。

これら3つの「アントレ」が、パッケージとなってSICアントレプレナー育成のプログラムとなっています。

さらに、それを地域企業の皆様が、「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業実行委員会」の組織として、熱いハートと資金面で支えている。とても、良い仕組みです。

こどもアントレの保護者あての説明には、「子どもたちには無限の可能性があり、能力があります。はじめて出会う仲間と会社設立から決算という経営の疑似体験を通じて、自身の可能性や能力に気づくと共に、何事にもチャレンジすることの大切さ、チームワークの大切さ、働くことの大切さと面白さ、お金の大切さなどを感じていただけるプログラムとなっています。」とあり、事業の意図が、明確に示されています。

今年の第7期アントレ・インターンシップ生
11大学15名の皆さんです。

参加したジュニアとこども、そして企画運営する大学生たちすべてのメンバーが、日々成長変化していく姿に感動しました。まさに、プログラムの意図が、具現化しています。

もうひとつ、「アントレ・インターンシップ」の「受講生の心得」は、「グサッ!」とききました。

【受講生の心得】

- 自分の持っている常識で片付けない
- 自分の行動すべてに責任を持って行動しよう
- 仲間を信じよう
- 時間は有限
- ほんとうに本気になろう
- どんなときもポジティブシンキングでいこう!
- 批評家にならない
- チームで協力しよう
- 仕事は目配り気配り心配り

「なんだよ! 自分が出来てないことじゃないか。」企業のマネージメントする基本が、ここにありました。そして、SICの存在意義が、ここにも表現されていると実感しています。



わたしの居場所

どんな人ですか? SIC スタッフ編

今月のスタッフ【施設管理担当 生井 雄一郎】

私がSICに着任してから今月でちょうど丸9年になりました。前職(金融機関)では3~5年で転勤となるので、SICでの勤務期間が私にとって1箇所での最長となりました。

SICに着任して施設管理の担当となり、皆様の入居手続きから入居されてからの施設関連の業務等でお世話になっております。担当業務から、皆様から各種のご照会をお受けしたり、こちらからお願いしたり、ご注意を受けたりと皆様とお話をする機会はSICスタッフの中でも多い方だと思います。

考えてみると、朝6時ごろに家を出て、夜帰宅しても睡眠時間を6時間とすると女房や家族と話す機会は1~2時間程度ということになります。(話す時間はあっても、ほとんど会話の無い日が多くなってきているのが現状ですが・・・)やはり、女房は「亭主元気で留守がいい!」なのでしょうね。亭主にしてみれば、「まだ寝てる、帰ってみればもう寝てる」ですが。

従って、私にとってはSICにいる時間の方が家族との時間より多く、皆様とお話すること、お役に立てることが私の活

力となっています。これからも新鮮な気持ちを保ってゆきたいと考えています。

昨年還暦を迎え、スタッフの中でも最年長となってしまいましたが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



上鶴間・長嶋神社の石仏
SIC アドバイザー 権藤 徹志氏 画

(次回は、入居企業担当の安藤が担当します。)

SIC 夏祭り

8月25日(水)、恒例のSIC夏祭りを開催しました。100名を超える参加者で賑わいました。暑い夏の夕暮れ時をバーベキューと歌で楽しんで頂けましたでしょうか。

今回は、モランボン様のご協賛をいただき、また、多くの方々から差入れを頂きました。ありがとうございます。感謝！感謝！です。



小林さんご夫妻のJAZZライブに酔いしれて。

年々、参加者が増えて来ていますが、今年はサプライズがありました。夏祭りも終わり頃、市長が立ち寄られました。中央の写真が市長との集合写真です。

みなさんの元気と加山市長のパワーをいただいて、長い残暑を乗り切りましょう。みなさん、くれぐれも熱中症にはお気を付けてください。エアコンの電気代の節約は控えめに！

来夏、またお会いしましょう！



提案です！
来年は、浴衣姿
というのはいかがで
しょうか？！
の方は無料
でしょうか？！



加山市長と記念撮影



市長と交流



荻島の気になるレポート

patisserie Prier パティスリープリエ

「小さな店だからこそ出来ることをする。」
お客様の声を聞きながら作り続けているケーキ屋さん”パティスリー プリエ”をご紹介します。
定番のショートケーキ、モンブラン、季節のくだものいっぱいのタルト、シフォンケーキ、津久井の卵を使った卵のような形のマドレーヌなどなど、どれも美味しそうです。
中でも人気が高いのはロールケーキ。この日も完売でした。
お客さまの中には、スイーツ男子(老若)が多いとか、お邪魔している間に来店されたお客さまの半分は男性でした。
そして、アーモンドペーストに砂糖を加えて作る「マジパン人形」がとてかわい。
注文に応じて手作りされるマジパン人形をのせて、ケーキもオーダーメイドにすれば、世界に1つのケーキの出来上がりです。
ご自分で八百屋の親父が似合うとおっしゃるオーナーの岡部さんは、とても気さくな方でした。(写真のマジパン人形に似ていませんか?)



■住所 〒252-0131 相模原市緑区西橋本1丁目20番19号 ■電話・FAX 042-774-6535 ■定休日 毎週月曜日・第3日曜日 ■営業時間：10時～19時

編集後記



SICはこの夏、職業能力開発総合大学校からインターンシップ生を受け入れました。能開大の(写真左から)足立君と森田君は、永井副部長のもと研究開発の過程を経験し、有意義なそしてあっという間の2週間だったようです。あまり研究開発に打ち込みすぎて、最終日にやっとお話ができました。来春から社会人の皆さん、応援しています。 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp